

令和6年度 環境活動レポート

(活動期間 R6.4～R7.3)



第16版作成： 令和7年5月28日

株式会社 小林土木緑化



エコアクション21
認定番号 0004181

目 次

1. 環境方針	P 1
2. 事業概要	P 2~3
3. 環境への負荷実績	P 4
4. 環境目標	P 5
5. 令和6年度環境活動計画	P 6~7
6. 環境活動の取組結果とその評価、次年度の取組内容	P 8~11
7. 令和7年度環境活動計画	P 12~13
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反訴訟等の有無	P 14
9. 代表者による全体の評価と見直しの結果	P 15

1. 環境方針

環境理念

環境保全に積極的に取り組むとともに、大量生産、大量廃棄型の社会から循環型社会への移行を目指します。

環境方針

1. 事業所及び現場の電気、燃料の使用量を削減し、CO2総排出量の低減に取り組めます。
2. 廃棄物の3Rを推進し、排出量の削減に努めます。
3. 環境関連の法令・規制を遵守します。
4. 現場で使用する水資源の節減に努めます。
5. 職業特性を活かし、緑化事業や環境に関わるボランティア活動に積極的に取り組めます。
6. ICTを活用し、建設工事を効率化するとともに、快適な職場環境を整備します。
7. 環境経営の継続的改善を実施します。

社内において、これら環境方針を周知徹底し、全員参加による環境保全活動に取り組めます。

社外にも、環境レポートを作成して、公表いたします。

制定日：平成20年 9月28日

改定日：令和 3年 5月10日

(株) 小林土木緑化
代表取締役 小林 優志

2. 事業概要

1) 事業者活動の概要

① 事業者名 及び 代表者

株式会社小林土木緑化
代表取締役 小林 優志

② 所在地

本社	西久保倉庫	小鹿資材置場
〒422-8005	〒422-8005	〒422-0821
静岡市駿河区池田637番地の1	静岡市清水区西久保195番地の1	静岡市駿河区小鹿348-4

③ 環境管理責任者 及び 担当連絡先

責任者 代表取締役 小林 優志

担当者 工務部 田原 将宏 事務局 田代 量子
緑地管理部 杉本 忠大

連絡先 TEL 054-264-6499 FAX 054-264-6498

E-mail : y-kobayashi@kobayashidoboku-r.co.jp

④ 事業活動、規模

総合建設業 静岡県知事許可(特-23)第22921号

資本金 30,000,000円

売上高 1,238,338,571円

売上件数 11件

緑地管理部門 樹木維持管理

工務部門 土木工事業、造園工事業、ほ装工事業、とび・土工・コンクリート工事業

産業廃棄物収集運搬業 (但し自社分のみ処理し、業は実施していない)

許可番号 第02201128206号

許可年月日 令和3年8月17日 有効期限 令和8年8月16日

従業員 37名

事務所床面積 63.7㎡

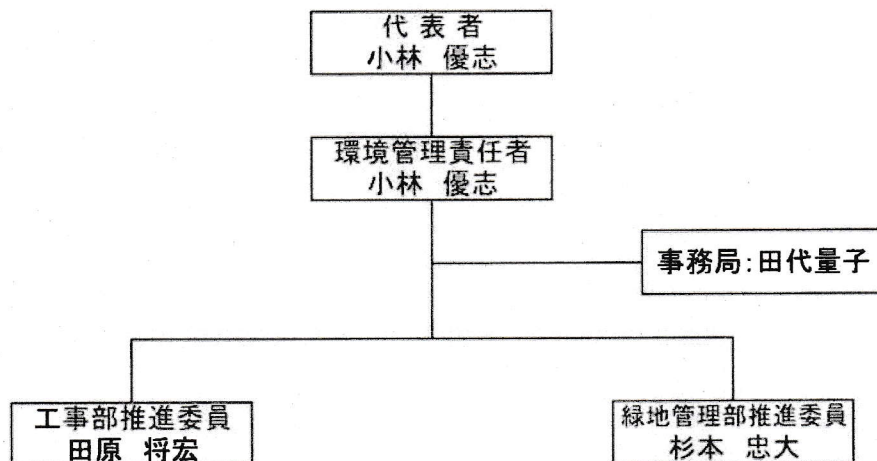
倉庫床面積 150㎡ 資材置場面積 950㎡

車両保有台数 35台 重機保有台数 3台

(使用車両台数 36台)

⑤ 認証・登録範囲: 全事業活動と全組織

2)実施体制図



環境管理責任者は常に新しい情報を取り入れ、各推進委員・現場代理人への教育、周知をうながす。現場代理人は協力業者に対して、新規入場者教育などを利用して、環境保全活動について教育し協力を促す。

[役割・権限・責任]

代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境目標、環境方針を定める ・ システムの全体的評価、見直し及び指示 ・ 資源の確保（人材、資産、技術） ・ 環境管理責任者を任命する。 ・ 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境活動計画の立案 ・ 環境活動の指導・推進・管理 ・ 代表者への報告
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文書の作成・管理 ・ 活動実績を環境管理責任者へ報告
推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部門の計画立案 ・ 部門活動の推進・管理 ・ 活動実績を環境管理責任者へ報告 ・ 協力業者への協力要請・指導
その他従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の役割を守り、エコアクション21の活動を推進する。

作成日: 令和7年5月 28日

3. 環境への負荷の実績

当社における過去3年間の負荷の実績は以下のとおりです。

項目	単位	令和3年度実績 (R3.4~R4.3)	令和4年度実績 (R4.4~R5.3)	令和5年度実績 (R5.4~R6.3)
二酸化炭素 排出量	kg-Co2	99,808	103,209	98,245
電力使用量 (事務所)	kwh	14,997	15,283	14,769
電力使用量 (現場)	kwh	21,008	5,512	8,663
ガソリン使用量 (事務所)	ℓ	21,185	23,214	21,097
ガソリン使用量 (建設現場)	ℓ	1,804	2,021	1,650
軽油使用量 (事務所)	ℓ	6,071	7,669	7,479
軽油使用量 (建設現場)	ℓ	5,746	5,961	5,952
灯油使用量 (建設現場)	ℓ	—	—	276
水使用量	m ³	98	102	104
都市ガス	m ³	—	—	17
産業廃棄物排出量	kg	671	546	1,664
一般廃棄物 排出量	kg	463	447	445

・従業員の通勤・移動に使用する燃料(ガソリン、軽油)は事務所での使用量として計上し、重機、発電機の燃料については現場での実績として計上した。

事業の規模とCO2排出量

活動規模	単位	令和3年度 R3.4~R4.3	令和4年度 R4.4~R5.3	令和5年度 R5.4~R6.3	令和6年度 R6.4~R7.3
売上高	百万円	706.9	1149.1	709.3	1238.3
従業員	人	34	33	33	37
床面積	m ²	63.7	63.7	63.7	63.7
CO2年間排出量	kg-Co2	99,808	103,291	98,245	97,037
百万円当りの CO2年間排出量	kg-Co2	141.19	89.89	141.86	78.36

4. 環境目標

項目	単位	令和3年度実績 (R3.4~R4.3)	令和5年度目標 (R5.4~R6.3)	令和6年度目標 (R6.4~R7.3)	令和7年度目標 (R7.4~R8.3)
二酸化炭素 排出量	kg-Co2	99,808	97,812	96,814	95,816
電力使用量 (事務所)	kwh	14,997	14,697	14,547	14,397
ガソリン使用量 (事務所)	ℓ	21,185	20,761	20,549	20,338
軽油使用量 (事務所)	ℓ	6,071	5,950	5,889	5,828
灯油使用量 (建設現場)	ℓ	0	0	0	0
水使用量	m ³	98	98	98	98
都市ガス	m ³	24	24	23	23
一般廃棄物	kg	463	463	463	463
産業廃棄物	kg	671	671	671	671
環境配慮工法 (ICT)の採用	件	0	1	1	1
100万円当り Co2排出量	kg-Co2	141.19	138.4	137.0	135.5

- ・削減目標は令和3年度データを基に年間1%を削減し、4年間で3%の削減を目標とする。
- ・現場での電力使用量及びガソリン・軽油使用量は、工事の種類により、使用量が大幅に変化することから、数値としての目標は設けず、実績値の把握のみとする。
- ・Co2排出係数は、0.459(中部電力ミライズ(株) 令和4年度調整後係数)を使用。
- ・産業廃棄物排出量は、工事内容により変化すること及び、再資源化率がほぼ100%であるため基準年度実績値=目標値とする。
- ・水使用量及び一般廃棄物排出量、都市ガスについては改善活動が定着したため、基準年度実績値を目標値とした維持管理とする。
- ・工事に伴う環境負荷を低減するため、実施可能な環境工法・機械、設備等を探求する。

上記の目標のほか、以下の取り組みを推進する。

①3S活動の推進

作業現場の効率を向上させ施工品質の向上のために3S活動(整理、整頓、清掃)に取り組む。

5. 令和6年度 環境活動計画書

作成日: 令和7年 5月28日

承認	作成
小林	田代

目 標 (方針に掲げた取組目標と整合させる) (環境負荷の自己チェックを踏まえて設定)	目標達成手段 (環境への取組の自己チェックを踏まえて計画する)	責任部門 責任者	スケジュール												達成度(個別)	達成度		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1. 電力使用量の抑制	①空調設備の適温化 冷房28度・暖房20度を目安	総務部 部長			→												○	○
	②照明管理 昼休み不要時の消灯																○	
	③OA機器の管理 30分以上未使用時節電、休暇前の電源OFF確認																	
2. 燃料使用量の削減 (ガソリン)	①アイドリングストップ 駐車時のアイドリングをストップする	使用者全員															○	△
	②急発進、急加速を行わない 燃料浪費の防止																△	
3. 燃料使用量の削減 (軽油)	①アイドリングストップ 駐車時のアイドリングをストップする	使用者全員															○	○
	②急発進、急加速を行わない 燃料浪費の防止																○	
4. 水使用量の削減	①節水事務所、現場事務所における節水 水をだしっぱなしにしない 洗濯時の節水	総務部 部長															○	○
5. 一般廃棄物の削減	①紙類のリサイクル 使用済用紙、新聞、ダンボールを廃品回収にだす	総務部 部長															○	△
	②使い捨て用品の購入抑制 使い捨ての文房具、容器入りの弁当の購入抑制 ペットボトル飲料の購入抑制	土木部・緑化管理 部・総務部・部長															△	

5. 令和6年度 環境活動計画書

作成日: 令和7年 5月28日

承認	作成
小林	田代

目 標 (方針に掲げた取組目標と整合させる) (環境負荷の自己チェックを踏まえて設定)	目標達成手段 (環境への取組の自己チェックを踏まえて計画する)	責任部門 責任者	スケジュール												達成度(個別)	達成度	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
6. 産業廃棄物排出量削減	①廃棄物の分別回収 分別、リサイクル(再資源化) ゴミBOX使用量の削減	土木部 緑化管理部 部長	→												○	○	
	②梱包材料の持ち帰り 協力業者、納入業者による回収		→												○		
	③マニフェストによる適正処理 安定型、管理型産業廃棄物の適正な運搬・処分		→												○		
7. 環境配慮工法の採用 環境自荷が、少ない作業方法の検討 (ICT施工の実施)	①発電機に替え、仮設電力設備を使用する。	土木部 部長	→												○	○	
	②環境負荷が少ない工法への設計変更	土木部 緑化管理部 部長	→												○		

5. 令和6年度 環境活動計画書

作成日: 令和7年 5月28日

承認	作成
小林	田代

目 標 (方針に掲げた取組目標と整合させる) (環境負荷の自己チェックを踏まえて設定)	目標達成手段 (環境への取組の自己チェックを踏まえて計画する)	責任部門 責任者	スケジュール												達成度(個別)	達成度		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
1. 電力使用量の抑制	①空調設備の適温化 冷房28度・暖房20度を目安	総務部 部長			→												○	○
	②照明管理 昼休み不要時の消灯																○	
	③OA機器の管理 30分以上未使用時節電、休暇前の電源OFF確認																	
2. 燃料使用量の削減 (ガソリン)	①アイドリングストップ 駐車時のアイドリングをストップする	使用者全員															○	△
	②急発進、急加速を行わない 燃料浪費の防止																△	
3. 燃料使用量の削減 (軽油)	①アイドリングストップ 駐車時のアイドリングをストップする	使用者全員															○	○
	②急発進、急加速を行わない 燃料浪費の防止																○	
4. 水使用量の削減	①節水事務所、現場事務所における節水 水をだしっぱなしにしない 洗濯時の節水	総務部 部長															○	○
5. 一般廃棄物の削減	①紙類のリサイクル 使用済用紙、新聞、ダンボールを廃品回収にだす	総務部 部長															○	△
	②使い捨て用品の購入抑制 使い捨ての文房具、容器入りの弁当の購入抑制 ペットボトル飲料の購入抑制	土木部・緑化管理部・総務部・部長															△	

5. 令和6年度 環境活動計画書

作成日: 令和7年 5月28日

承認	作成
小林	田代

目 標 (方針に掲げた取組目標と整合させる) (環境負荷の自己チェックを踏まえて設定)	目標達成手段 (環境への取組の自己チェックを踏まえて計画する)	責任部門 責任者	スケジュール												達成度(個別)	達成度			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
6. 産業廃棄物排出量削減	①廃棄物の分別回収 分別、リサイクル(再資源化) ゴミBOX使用量の削減 ②梱包材料の持ち帰り 協力業者、納入業者による回収 ③マニフェストによる適正処理 安定型、管理型産業廃棄物の適正な運搬・処分	土木部 緑化管理部 部長	→														○	○	
			→																○
			→																
7. 環境配慮工法の採用 環境自荷が、少ない作業方法の検討 (ICT施工の実施)	①発電機に替え、仮設電力設備を使用する。 ②環境負荷が少ない工法への設計変更	土木部 部長	→														○	○	
		土木部 緑化管理部 部長	→																○

6. 環境活動の取り組み結果とその評価、次年度の取組み内容(1)

当社では平成20年10月からエコアクション21への取り組みを開始している
今回、令和6年4月から令和7年3月までの1年間の実績を目標値と比較し、評価を行った。

	単 位	期間目標 R6.4~R7.3	今年度実績 R6.4~R7.3	結 果 (目標比)	達成度
二酸化炭素排出量	kg-Co2	96,814	97,037	0.2%増加	×
電力使用量(事務所)	kwh	14,547	11,727	19.4%減少	○
電力使用量(建設現場)	kwh	—	2,827	—	—
ガソリン(事務所)	ℓ	20,549	23,502	14.4%増加	×
ガソリン(建設現場)	ℓ	—	1,540	—	—
軽油(事務所)	ℓ	5,889	7,624	29.5%増加	×
軽油(建設現場)	ℓ	—	4,785	—	—
水使用量	m ³	98	63	35.7%減少	○
産業廃棄物排出量	kg	671	883	31.6%増加	×
一般廃棄物排出量	kg	463	436	5.8%減少	○
環境配慮工法 (ICT)の採用	件	1	1	—	○
100万円当りの CO2排出量	kg-CO2/年	137.0	78.36	42.8%減少	○

- * 使用車両(ガソリン)増減なし 計28台(基準年度に比べ3台増加)
- * 使用車両(軽油) 増減なし 計 8台(基準年度に比べ1台増加)
- * 重機(軽油) 増減なし 計 3台

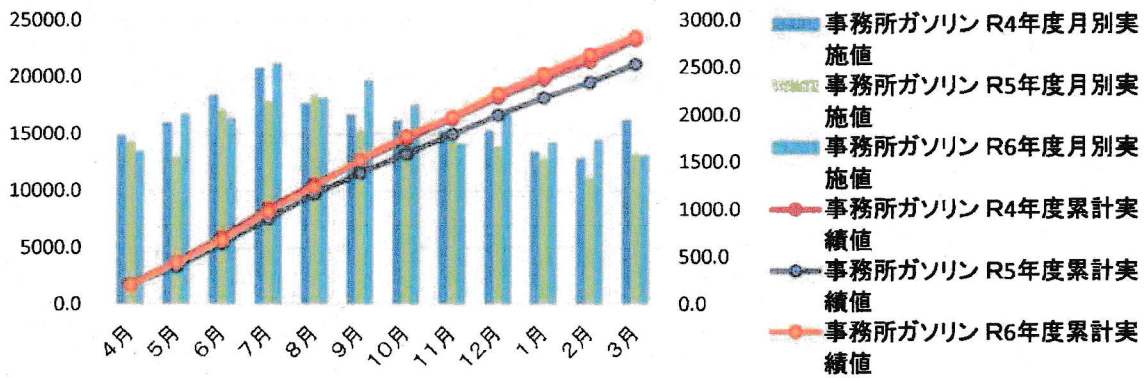
環境活動の取り組み結果とその評価、次年度の取組み内容(2)

項目	評価	次年度の取組
電力使用量の抑制	目標を達成することができた。	今後も削減に努めたい。
燃料使用量 (ガソリン)の削減	基準年度に比べ、車両台数が多くなったことで使用量が増加し、目標が達成できなかった。	近距離の現場を受注できるよう努力したい。 アイドリングストップに努めたい。
燃料使用量 (軽油)の削減	基準年度に比べ、車両台数が多くなったことで使用量が増加し、目標が達成できなかった。	現場で使用しない車両は極力移動に使用しないようにする。
水使用量の削減	目標を達成することができた。	今後も削減に努めたい。
一般廃棄物排出量 の削減	目標を達成することができた。	今後も削減に努めたい。
産業廃棄物排出量 の削減	受注工事内の産廃排出量が多かったため、目標を達成することができなかった。	産廃物の分別収集と manifests の管理を順守していきたい。
環境配慮工法 (ICT)の採用	ICT施工実施件数1件。	次年度も実施したい。
環境活動の推進	事務所周辺の清掃活動を2回行った。 園芸市(静岡市主催)に2回参加した。 あさはた緑地のクリーン作戦に参加した。	今後も、ボランティア活動を継続させるとともに、活動量をふやしていきたい。

6. 環境目標とその実績(2)

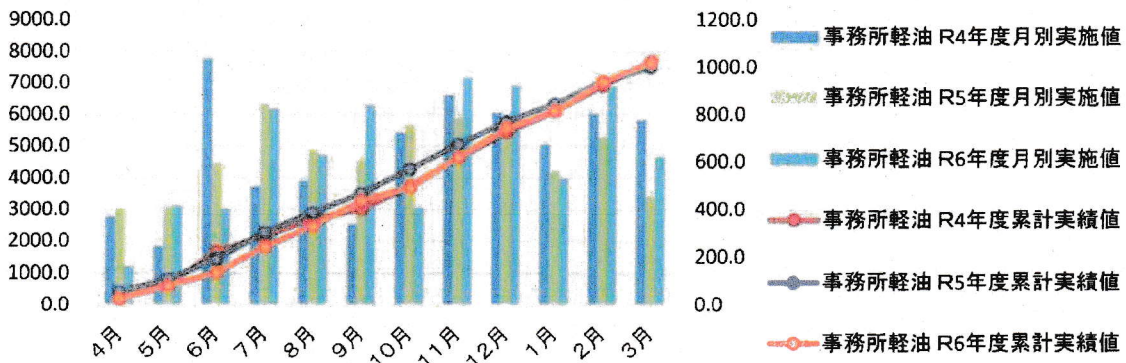
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事務所 ガソリン	R4年度月別実施値	1788.4	1918.3	2210.7	2486.9	2119.5	1996.4	1939.2	1829.1	1829.5	1610.4	1538.9	1947.3
	R4年度累計実績値	1788.4	3706.7	5917.5	8404.3	10523.9	12520.3	14459.4	16288.5	18118.0	19728.5	21267.4	23214.7
事務所 ガソリン	R5年度月別実施値	1717.4	1558.7	2051.0	2146.4	2201.5	1835.0	1684.0	1760.0	1672.1	1529.7	1339.0	1584.9
	R5年度累計実績値	1717.4	3276.1	5327.1	7473.5	9675.0	11510.0	13194.0	14954.0	16626.1	18155.8	19494.8	21079.7
事務所 ガソリン	R6年度月別実施値	1615.4	2066.1	1967.3	2540.2	2180.9	2364.7	2108.7	1692.5	2004.0	1709.9	1738.0	1575.0
	R6年度累計実績値	1615.4	3621.5	5588.8	8129.0	10309.9	12674.7	14783.4	16476.9	18479.9	20189.9	21927.8	23502.9

事務所ガソリン使用料 実績値比較(ℓ)



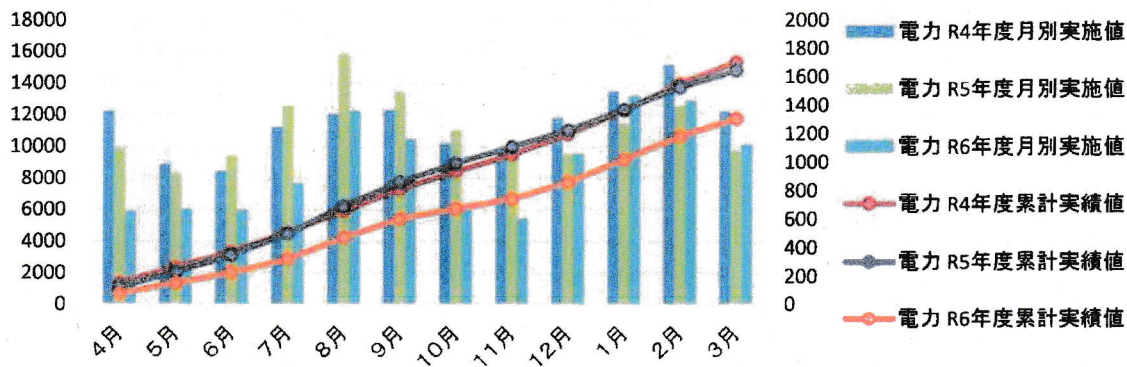
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事務所 軽油	R4年度月別実施値	369.6	242.9	1035.3	498.2	531.3	335.1	723.9	882.1	407.8	672.2	801.8	776.9
	R4年度累計実績値	369.6	612.4	1647.7	2146.0	2667.2	3002.3	3726.2	4608.3	5116.0	6088.3	6890.0	7666.9
事務所 軽油	R5年度月別実施値	402.9	411.5	596.0	842.2	645.7	606.7	753.6	787.6	714.8	559.5	703.4	455.3
	R5年度累計実績値	402.9	814.4	1410.4	2252.6	2898.3	3505.1	4258.7	5046.3	5761.1	6320.6	7024.0	7479.3
事務所 軽油	R6年度月別実施値	161.2	414.7	402.8	825.1	629.5	839.9	407.8	954.9	920.0	530.8	918.3	619.1
	R6年度累計実績値	161.2	576.0	978.8	1803.9	2433.3	3273.3	3681.1	4636.0	5556.0	6086.8	7005.1	7624.2

事務所軽油 実績値比較(ℓ)



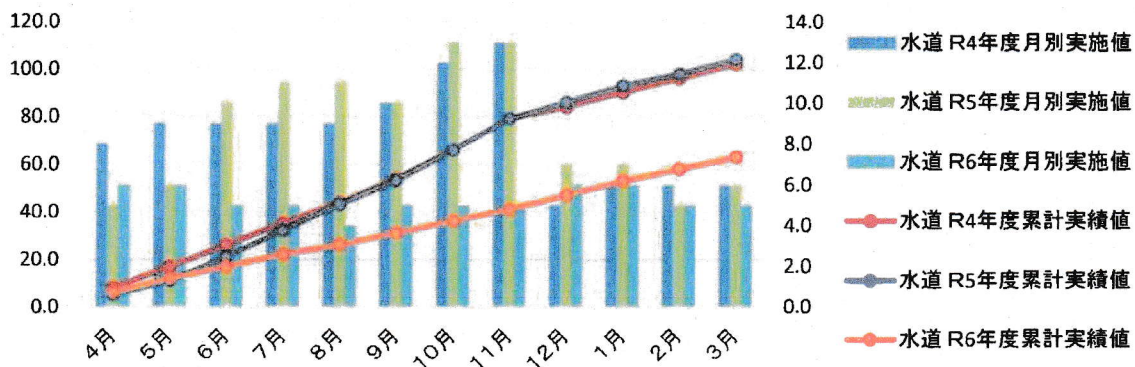
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電力	R4年度月別実績値	1358	969	931	1247	1339	1367	1129	1071	1313	1498	1680	1356
	R4年度累計実績値	1358	2346	3283	4530	5869	7236	8365	9436	10749	12247	13927	15283
電力	R5年度月別実績値	1099	918	1042	1393	1756	1496	1219	1038	1060	1273	1395	1080
	R5年度累計実績値	1099	2017	3059	4452	6208	7704	8923	9961	11021	12294	13689	14769
電力	R6年度月別実績値	666	670	665	653	1360	1160	666	607	1054	1466	1436	1126
	R6年度累計実績値	666	1326	1991	2844	4204	5364	6030	6637	7701	9166	10601	11727

電力使用料 実績値比較(kwh)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水道	R4年度月別実績値	8.0	9.0	9.0	9.0	9.0	10.0	12.0	13.0	5.0	6.0	6.0	6.0
	R4年度累計実績値	8.0	17.0	26.0	35.0	44.0	54.0	66.0	79.0	84.0	90.0	96.0	102.0
水道	R5年度月別実績値	5.0	6.0	10.0	11.0	11.0	10.0	13.0	13.0	7.0	7.0	5.0	6.0
	R5年度累計実績値	5.0	11.0	21.0	32.0	43.0	53.0	66.0	79.0	86.0	93.0	98.0	104.0
水道	R6年度月別実績値	6.0	6.0	6.0	5.0	4.0	5.0	5.0	5.0	6.0	6.0	5.0	5.0
	R6年度累計実績値	6.0	12.0	17.0	22.0	26.0	31.0	36.0	41.0	47.0	53.0	58.0	63.0

水道 実績値比較(e)



7. 令和7年度 環境活動計画書

作成日: 令和7年 5月28日

承認	作成
小林	田代

目 標 (方針に掲げた取組目標と整合させる) (環境負荷の自己チェックを踏まえて設定)	目標達成手段 (環境への取組の自己チェックを踏まえて計画する)	責任部門 責任者	スケジュール												確認事項
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 電力使用量の抑制	①空調設備の適温化 冷房28度・暖房20度を目安 ②照明管理 昼休み不要時の消灯 ③OA機器の管理 30分以上未使用時節電、休職前の電源OFF確認	総務部 部長	→												電気使用量の推移を回覧
			→												
			→												
2. 燃料使用量の削減 (ガソリン)	①アイドリングストップ 駐車時のアイドリングをストップする ②急発進、急加速を行わない 燃料浪費の防止	使用者全員	→												燃料使用量の推移を回覧
			→												
			→												
3. 燃料使用量の削減 (軽油)	①アイドリングストップ 駐車時のアイドリングをストップする ②急発進、急加速を行わない 燃料浪費の防止	使用者全員	→												燃料使用量の推移を回覧
			→												
			→												
4. 水使用量の削減	①節水事務所、現場事務所における節水 水をだしっぱなしにしない 洗車時の節水	総務部 部長	→												水使用量の推移を回覧
			→												
			→												
5. 一般廃棄物の削減	①紙類のリサイクル 使用済用紙、新聞、ダンボールを廃品回収にだす ②使い捨て用品の購入抑制 使い捨ての文房具、容器入りの弁当の購入抑制 ペットボトル飲料の購入抑制	総務部 部長	→												ゴミ袋使用枚数の確認
		土木部・緑化管理 部・総務部・部長	→												
		→													

7. 令和7年度 環境活動計画書

作成日: 令和7年 5月28日

承認	作成
小林	田代

目 標 (方針に掲げた取組目標と整合させる) (環境負荷の自己チェックを踏まえて設定)	目標達成手段 (環境への取組の自己チェックを踏まえて計画する)	責任部門 責任者	スケジュール												確認事項			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
6. 産業廃棄物排出量削減	①廃棄物の分別回収 分別、リサイクル(再資源化) ゴミBOX使用量の削減 ②梱包材の持ち帰り 協力業者、納入業者による回収 ③マニフェストによる適正処理 安定型、管理型産業廃棄物の適正な運搬・処分	土木部 緑化管理部 部長															産廃BOX内容物の確認	
7. 環境配慮工法の採用 環境負荷が、少ない作業方法の検討 (ICT施工の実施)	①発電機に替え、仮設電力設備を使用する。 ②環境負荷が少ない工法への設計変更	土木部 部長																
		土木部 緑化管理部 部長																

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反訴訟等の有無

承認	作成
小林	田代

(環境関連法規一覧)


見直し日R6. 5. 28


関係法令名	法令のポイント	規制基準等	遵守状況等 最終確認日 令和7年5月28日
1 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	一般廃棄物、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物等の種類が定義されている。排出事業者、収集運搬業者、処分業者等の役割、施設の設置基準等が定められている。また排出責任の原則として排出事業者が産廃の最終的な処分まで責任を持つことが定められている。委託処理契約書の締結、マニフェスト制度の維持管理について規制や罰則が強化されている。	* 分別・減量等の適切管理 * 保管場所に掲示板設置	* 適切管理確認OK * 掲示板問題なし
		* 委託契約書締結 * 委託者の許可期限確認	* 処理業者との委託契約確認 * 許可期限確認 問題なし
		* マニフェスト伝票の管理・保管5年 * 毎年6月30日までに廃棄物量の届出(静岡市長)	* 管理台帳で管理、適切を確認 * 令和7年5月提出
		* 自社の収集運搬許可書の期限確認(他社の収集運搬は行っていない)	* 許可期限 令和8年8月16日
		* 多量排出事業者(前年排出量1000t以上)は産業廃棄物の減量その他に関する計画書を作成、提出する。	* 令和7年5月提出
静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	廃棄物処理法の上乗せ基準の条例として排出事業者、産廃処理設備事業者、県外産廃搬入事業者等を規制している。	排出事業者として; * 事業場毎に産業廃棄物管理責任者を設置する。(届出不要) * 産廃処理を委託するときは事前に現地確認が必要 * 継続契約の場合は1回/年の現地確認が必要	* 田原得宏を産廃管理責任者に任命 * R7.4.19に静岡市資源に確認
2 建設工事にかかる資材の再生資源化に関する法律 (建設リサイクル法)	建設工事における資源の有効利用と廃棄物の適正処理が目的。分別解体と再資源化(リサイクル)を実施させるため、対象工事になると発注・受注者間の各種契約手続、特定建設資材廃棄物の再資源化義務、分別解体義務が課せられる。解体工事業者の届出制度がある。	* 対象建設工事(工事の種類と規模により対象工事となる)着工7日前までに各種届出が必要(発注者) * 工事元請業者にも各種報告・説明が課されている。 * 廃棄物(建設副産物)の種類に応じた適切な処理	* 当該期間に建設リサイクル法該当工事 5件実施 適切に実施を再度確認した
3 騒音規制法	工場及び事業所における事業活動並びに建設工事、自動車騒音に関する規制や許容限度を定める。指定地域内で特定建設作業を実施する場合、工事開始7日前までに届出が必要。工事の実施では規制基準の順守が必要。規制基準には、条例による上乗せがある。	* 特定建設作業(杭打機、削岩機、空気圧縮機(電動機以外で15KW以上)等を使用)に該当する場合は事前届出をする。 * 一般工用機械は低騒音建設機械の指定型式を使用する	* 該当工事なし
4 振動規制法	工場・事業所振動、建設作業振動、道路交通振動に分けてそれぞれ規制している。指定地域内で特定建設作業を実施する場合、工事開始7日前までに届出が必要。工事の実施では規制基準の順守が必要。規制基準には、条例による一部上乗せがある。	* 特定建設作業(杭打機、舗装版破砕機、プレーカー(除手付式)などを使用)に該当する場合は事前届出をする。 * 一般工用機械は低振動建設機械の指定型式を使用する	* 該当工事なし
5 低騒音型低振動型建設機械の指定に関する規程、低騒音型建設機械の指定について (建告示1536関連)	低騒音型低振動型建設機械の使用の指導	* 低騒音・低振動型建設機械の使用に努力する。	* 該当重機の使用・マーク添付を確認した。
6 河川法	河川の、災害の発生防止、適正利用、流水の正常な機能維持及び河川環境の整備と保全を目的とした法律	* 河川工事は、河川管理者又は行政(市町村長等)の許可と指導の元に実施される。許可事項を順守することがポイント。	* 該当工事なし
7 農業取締法	農業の販売及び使用などの規制等を行い、農業の品質適正化、安全かつ適正な使用の確保を図り、農業生産の安定と国民の健康の保護に資することを目的とする。「住宅地等における農業使用について(25消安第175号)」も参照	* 農業の使用時、農業登録時に定められた基準を守る * 対象区域外への飛散防止 * 最終有効期限を越えて使用しない * 農業等の保管場所には施設する	* 適正に取り扱う。問題なし。
8 毒物及び劇物取締法	毒性の強さに応じて特定毒物、毒物、劇物に指定して、その取扱を規制する。	業務上取扱者(非届出業者) * 容器・保管場所へ表示を行う。 * 該当農業の盗難、紛失、漏洩流出した際は、直ちに警察署に届け出る。(漏洩の場合は、保健所、消防機関も)	* 管理状況を確認。問題なし
9 家電リサイクル法	家電による廃棄物の減少と資源の有効利用を目的	* エアコン、TV、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、乾燥機の廃棄時、小売業者等に引取り依頼、家電リサイクル券を受領する。	* 本年度 該当なし
10 資源有効利用促進法 (パソコンのリサイクルのみ)	パソコン関連業界にパソコンの自主回収と再資源化を義務づけた。	* パソコン及びディスプレイの処分時は、生産業者に引渡す。	* 本年度 該当なし
11 フロン排出抑制法	オゾン層を破壊し、地球温暖化に深刻な影響をもたらすフロン類の大気中への排出を抑制するため、特定製品に使用されているフロン類の回収及び破壊の実施を確保。	* すべての業務用冷凍・空調機器(第一種特定機器)を対象に、簡易点検を実施(3ヶ月に1回以上) * エアコン: 7.5kw以上50kw未満1回/3年の定期点検が必要(当社は現状では不要) * 機器引渡し時、フロンを回収し、回収済み証明をもって処分業者へ引き渡す。(処分業者へフロン回収を委託する場合は回収済み証明を確認)	* 令和7年5月28日確認 問題なし
12 自動車リサイクル法	ゴミを減らし、資源を無駄にしないリサイクル型社会を作るために、クルマのリサイクルについて定めた法律。	* リサイクル料金の支払い * 自治体に登録された買取業者への廃車の引き渡し。	* 令和7年5月28日確認 問題なし

① 過去3年間にわたり、関係機関からの指導及び利害関係者からの訴訟等もありませんでした。

② 遵守状況等確認の結果 違反はありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し

見直し関連情報	
項目	確認（必要に応じて評価・コメント記載）
環境方針	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
環境目標 及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
環境活動計画 及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
環境関連法要求一覧 及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
外部コミュニケーション 対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
問題点の是正 予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
取引先、業界、関係行政機関、 その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
その他	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
令和7年 5月28日 環境管理責任者 小林 優志 	

代表者による全体評価・見直し指示		
見直し項目	変更	指示事項等
環境方針	有/ <input checked="" type="radio"/> 無	
環境目標・計画	有/ <input checked="" type="radio"/> 無	
環境活動計画・取組項目	有/ <input checked="" type="radio"/> 無	
環境に関する組織	有/ <input checked="" type="radio"/> 無	
その他のシステム要素	有/ <input checked="" type="radio"/> 無	
その他	有/ <input checked="" type="radio"/> 無	
全体評価	Co2排出量、電力使用量、ガソリン・軽油使用量ともに過去3年より削減できた。今後も削減できるよう努力していきたい。	
令和7年 5月28日 代表取締役 小林 優志 		

令和7年 5月28日
株式会社小林土木緑化
代表取締役 小林 優志